

晴るばる

JA KITAHARUKA
PR brochure
HARUBARU



vol. 196
2024. 1月号

中川町幼児センターへ農産物寄贈



令和6年 年頭のご挨拶

会長理事 中瀬 省



中瀬会長理事年頭挨拶	2
小林組合長・役員新年のご挨拶	3
中央会樽井会長年頭挨拶	4
組織代表者挨拶	5
組織代表者挨拶	6
フォトレポート 美深・中川	7
フォトレポート 美深・下川・中川	8
年末年始業務日程・理事会報告	9
電子帳簿保存法について	10
営農情報	11
警察より・組合員の異動・編集後記	12

令和6年の新春をご家族皆様お揃い
 でお迎えなされましたこと、心から
 喜び申し上げますとともに、新しい年
 が希望に満ちた年でありますようお祈
 りいたします。

時の過ぎるのは早いものでJA北は
 るかとして22年目を迎えようとしてい
 ます。この間農業を取り巻く環境は大
 きく変わりました。ありますが、どのよう
 に状況が変わっても農業の大切さは変
 わることはありません。これからも組
 合員、地域の皆様と力を合わせ安心し
 て暮らせる地域社会創りに役職員一丸

となり努力してまいります。

私事になりますが、昨年7月をもつ
 て全道、全国の役職を退任いたしまし
 た。旧美深農協の理事を始めJA北は
 どの役員としてずいぶん長い間組合
 員、農協の役職員の皆様に支えられ役
 職を全うできましたことに感謝申し上
 げます。今後は息子夫婦の農業経営に
 協力していきたいと思っております。本
 来ならば一人一人にお礼を申し上げる
 ところではあります。紙面をもって
 お礼と感謝を申し上げます。

常勤役員を退任して改めて私たちの

理念であります「一人は万人のために、
 万人は一人のために」「相互扶助」の大
 切さを感じています。この理念を旗印
 にして組合員の営農と生活を守り、こ
 の地に住む皆様が安心して暮らせるよ
 う協力してまいりたいと思っております。

新しい年が、JA北はるかのさらな
 るご発展と組合員皆様のご多幸、豊饒
 の年とされることをご祈念申し上げ
 年頭のあいさつとさせていただきます。

今月の表紙



中川町幼児センターへ農産物寄贈
 10月27日中川町幼児センターへ黒澤支所長
 が訪問しもち米・南瓜・芋各10kgずつ寄贈致
 しました。幼児センターの園児たちは、小さな
 体で重たいお米や南瓜を受け取っていました。
 黒澤支所長は子供たちに「すでに皆さん
 元気いっぱいですが、おいしいお餅や南瓜・
 芋を食べてさらに元気いっぱいになってくだ
 さい」と伝え、園児たちは大きな声で「ありが
 とうございました」とお礼を述べました。



令和6年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功



新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員の皆様におかれましては、日々
営農に更に邁進されておられることと
存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸と
なり地域農業の振興や地域社会の発展
に向け、日頃より多大なご尽力をされて
いることに対しまして、改めて敬意と感
謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先は
天候に恵まれ地域によって降雹被害や
竜巻の被害が見られたものの、概ね、平
年並みに推移しておりました。しかしな
がら夏場は猛暑による記録的な高温多
湿の影響を大きく受け、各作物の生育自
体は、全般的に平年よりも早く進んでき
ましたが、各作物等の収量および品質の
低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウイルス感染症の位置付
けは昨年5月より5類に移行し、コロナ
禍以前の日常を取り戻しつつあります
が、各農畜産物の消費は依然として低迷
しており、さらに、国際紛争や急激な円
安の進行による飼料・肥料をはじめとし
た生産資材の高止まりが、農業経営に与
える影響は甚大なものとなっています。
さらにこれらの影響を受け、世界の食

料需給事情が一変しました。輸出制限を
行い、自国の食料を確保する各国の動き

が活発化し、世界的な人口増加による食
料不足問題など食料争奪合戦がすでに
始まっています。我が国の食料を安定的
にどう確保するのか。今こそ大いに食料
安全保障の国民的議論が必要となっ
ています。

現在、日本の食料自給率は38%しかあ
りません。

これは、世界の先進国の中で最低の水
準であり、6割以上の食べ物を輸入に
頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課
題であることから、我が国の食料供給基
地である北海道農業が果たしてきた役
割、そして北海道農業への期待は、今後
ますます大きくなるものと考えており
ます。

J Aグループ北海道は、日本の食料基
地であるという使命感に立ち、食料の安
定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大
を両輪として引き続き取り組むことが
重要であり、国民の命の源である食を守
り続けるにも、まさに新しい農業を築
き、未来の世代へ繋いでいく必要があ
り、行政や全国連とも連携し、しっか
りその対応を図って参ります。

今年、第31回J A北海道大会が開催
されます。

また、第30回J A北海道大会の実践最
終年度であり、決議された将来ビジョン
である、「北海道550万人と共に創る
『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社
会』の達成」の成果をしっかりと検証し、
次のJ A北海道大会に繋げていく必要
があります。

このような状況であるからこそ、協同
組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の
精神に基づき互いに協力し、力を合わせ
この難局を乗り越えることが重要とな
ります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上
に農業・食に対する理解を求めするため、
J Aグループ北海道統一の情報発信の
フレーズである「アグリアクション北海
道」を浸透させ、より効果的な情報発信
を行い、J Aグループが提唱する「国消
国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになります。本年は辰年です。
辰年は陽の気が動いて万物が振動する
ので、活力旺盛になって大きく成長し、
形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穰の
年となること、皆様のご健勝をご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶といたします。



J.A北はるか南瓜生産部会

部会長 河津 俊之

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当部会の活動において、各関係機関・組合員の皆様方にはご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は定植時期の天候には恵まれましたが、その後の7月、8月の今まで経験のないような豪雨や長雨があり水害に見舞われました。水害や高温などの影響もあり、着果後に果実が次々と落果し、我々にはどうしようもない自然の恐ろしさを実感しました。

また、収穫前から疫病が多発する畑もあり、これらの影響によって管理作業や熱中症の予防など収穫終了まで我々を苦しめた一年だったと思います。

南瓜の減収はありましたが、各生産者の管理努力もあり品質の良い南瓜の生産が出来たと考えます。また、市場では出荷始めから高単価となり、減収分は販売単価で補えたのではないかと考えています。

生産資材等の価格高騰や異常気象の常態化と営農するうえで大変難しい局面ではあります。新たな発想で困難に向かっていき逆境をチャンスに変えら

れたらと考えております。

今後とも皆様からの活発なご意見・お力添えを頂き、部会活動をより良いものになる様、ご指導・ご鞭撻をお願いしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



北はるかもち米生産組合下川部会

部会長 小原 意玲

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当組合の活動において、各関係機関および組合員の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。申し上げます。

昨年の融雪は順調に進み、比較的安定した天気で作業ができました。田植え以降の数か月間は平年よりも高い気温が続き、雨天が少なかったことから、水持ちが悪く水管理の難しい年でした。収穫作業では稲の倒伏が散見され、多くの生産者様がご苦労されたことと思います。

北はるか管内のもち米の収穫量は、平年並に収量があり、まずまずの年だったのではないかと感じています。

下川地区の水田生産者は少なくなり5戸まで減少しております。高齢化や後継者不足による背景からやむなく離脱していく現状に直面しており、水田維持

への難しさが現実味を帯びてきています。

そんな中、本年も美深地区のもち米生産組合とともに特別栽培米に挑戦し、これからも 消費者のみなさまに、安全で安心して食べていただけるように頑張っていきたいと思っております。

最後になりましたが、今後とも、より一層のご支援やご指導をうけたまわります。簡単ではありますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



北はるか酪農振興協議会中川支部

部会長 加藤 昭洋

新年あけましておめでとうございます。

日頃より酪農振興協議会の活動に対し、各関係機関を始めとした皆様のご理解ご協力、ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。また、生乳出荷におきましても出荷抑制の中、安心安全な生乳生産のご協力をありがとうございます。

昨年も非常に大雨が続き粗飼料の肥培管理や収穫などご苦労された事と思っております。また、夏の猛暑で牛群の飼養管理も大変難しい年でした。その影響が粗飼料の品質低下や牛群の繁殖成績低

下へと拡がること懸念されます。

酪農情勢は乳価が上がったものの、配合飼料や肥料・資材の高騰と、牛の市場価格の低迷が重なり依然厳しい状況が続いております。しかし、新型コロナウイルス類移行に伴い人流物流が活発になり、需要が上がっていく事が期待されます。明るい希望を持ちつつ、基本を大事に気持ちにも余裕をもって頑張っていきたいと思います。

ヘルパー事業におきましては、新たな人員が補充され組合員の協力のもと新人育成に努めております。今後も、関係機関と連携して円滑な運営を進めて参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健康・ご多幸をお祈りいたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



J.A北はるか青年部

部長 品地 一彰

新年明けましておめでとうございます。日頃より当青年部活動におきまして、各関係機関、組合員の皆様には多大なるご理解ご協力を頂きまして心より御礼申し上げます。

昨年の青年部活動につきましてはコロナ禍にも陰りが見え、以前の様な活動

を本格的に始めることが出来ました。

食育活動では、美深小学校の事業は継続しつつ、新たに下川商業高校でも実施する事が出来ました。高校では授業の一環として札幌の百貨店で地場産の食材を販売実習しているため、地元農業の理解をより深めてもらうため、部員による講習会を開催し、今後も継続する事となりました。

夏場のビールパーティーは、諸先輩方が作り上げた青年部を象徴する一大イベントです。以前はSUN21での屋内開催でしたが、新型コロナウイルスにも配慮し物流センターを利用しての屋外イベントに変更し4年ぶりに実施することが出来ました。組合員の皆様の交流の場として多くの方が参加され、盛況の中無事に終えることが出来た事を皆様には深く感謝を申し上げます。

また上川地区JA青年部活動では、昨年から「ご飯が進む農家めし」事業や、11月に開催された上青協大会等、女性部、スズラン会の皆様や部員一同の協力の下、上川管内へJA北はるか存在をアピールする事が出来ました。美深町子供盆踊り、ふるさと秋祭り、婚活事業等様々な事業にも取り組むことが出来ました。

本年も上川北部ブロックの合同事業や農村スポーツ大会も予定しておりますので、何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

終わりになりますが、我々青年部は皆様のお力添えにより活動する事が出来ております。

これは各関係機関、組合員の皆様だけ

でなく青年部員1人1人の協力があってこそです。

頼りない部長ではありますが今後とも皆様の力をお借りしてJA北はるかを盛り上げていく所存です。

JA北はるかへの更なる発展、皆様のご健勝と御多幸を祈念致しまして、新年のあいさつとさせていただきます。



北はるか酪農振興協議会下川部会

部長 堀川孝二

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

日頃より組合員の皆様方には酪農振興協議会の活動に対し、格段なるご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。また、各関係機関のご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

長引いていた新型コロナウイルス感染症が昨年5月より5類感染症となりましたが、インフルエンザウイルスの感染も例年より早い時期から猛威を振るっているため、まだまだ気をつけなければならぬ状況となっております。

肥料・配合飼料・燃料・食料品等の物価高騰も続いており、組合員の皆様におかれましても大変ご苦労されている事と

思いますが、昨年に引き続き日頃の乳牛飼養管理や衛生管理など地道な努力を続け、この地域の酪農畜産を共に盛り上げていけたらと思っております。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、本年は明るく夢を持って営農できる1年となることを願います。新年のご挨拶とさせていただきます。



中川町ホルスタイン改良協議会

会長 丸藤英介

新年明けましておめでとうございます。

日頃より「中川町ホルスタイン改良協議会」の活動に対しましては、JAをはじめ各関係機関の皆様にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、天災・天候不順が毎年のように起こり、それに加え新型コロナウイルスの爪痕、世界情勢の混沌、コスト高と厳しい状況ですが、島国日本の食料の安全と確保の為に一緒に頑張りましょう。

昨今、持続的で環境に優しい農業が求められています。土にある程度の有機物、ミネラルバランスがなければ、肥料の効果も低くなってしまうので、それぞれの地域、土質などに合ったより良い農法とは何なのか？を今一度考える時期にきているのではないでしょう

か？

また人の健康は、食べた物とストレスが大きな要因であると考えていますが、食物の安全に関して、食品添加物や輸入農畜産物の残留農薬や防虫剤、成長ホルモンなどのリスクがある中、日本の農畜産物はそのようなリスクが極めて低く、人の健康に寄与すると認識しています。

日本人の健康の為に、日本の農畜産物を規格外なども含め無駄なく食卓まで届ける事が必要であると考えています。

乳牛の改良について少し触れさせていただきます。それぞれ牧場で、飼養環境、システム、目指す乳量レベルが異なるので、各牧場に合った改良をしつかり意識して、母牛1頭1頭に精液を選定する事が重要だと思えます。その過程でゲノム解析、交配相談サービスを利用するのも良いですし、母牛の生まれてからの記録データを持っているのは牧場主です。ですから、それも十分に活用していただきたいと思えます。また、近年私が重視しているのは、乳牛の強さ(胸幅)です。やはりこれは広いほうが内蔵が強く、草も良く食込み、長命性にも関わってくる(特に放牧牛)という事が、記事にもなっていました。放牧でも舎飼いでも共通して言えるのは、肢蹄が良く、体重は重過ぎないほうが長生するという事です。

農業を営むことが、農場の方々、各関係機関、消費者の方々の幸せと日本の明るい未来に繋がるよう、お祈りいたします。ことをもちまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

美深

もち米生産組合 収穫感謝祭開催

12月8日、びふか温泉にて北はるかもち米生産組合の主催による収穫感謝祭が開催されました。

新型コロナウイルスの影響により中止となっていたが、4年ぶりの開催となり美深、下川2地区の生産者や町役場、普及センター、共済組合、ホクレン等の各関係機関とJA職員を併せて約40名が集まり無事に実りの秋が迎えられたことをお祝い致しました。

まず初めに講習会が開かれ各関係機関の担当者が講師となり、今年度のもち米の生育の状況や情勢、園芸施設共済について等の内容で行われました。

講習会終了後、深澤組合長より「今年3月に北海道優良米生産出荷共助会において最優秀賞を受賞致しました。組合員全戸で特別栽培に取り組み、環境に配慮したクリーン農業を進める当組合は他の模範となる高い評価



講習会の様子



開会の挨拶の様子

を頂きました。肥料・資材高騰、物流の2024年問題など農業にとっては厳しい情勢が続きますが、今年一年大きな事故や怪我なく豊穡の秋を迎えられた事を喜ぶとともに、もち組合の更なる発展と来年が明るい一年であることを祈念致します。」と挨拶がありました。

来賓の皆様にも祝辞を頂き感謝祭が始まりました。会場は今年のもち米の作況や、近年の消費動向等様々な話題で大変盛り上がりしました。

もち米を担当している農産課 坂野職員は「今年も収穫作業、JAでの調整作業ともに大きな事故無く終わることが出来、非常に安堵している。収量は平年作よりやや多いくらいだが、品質は非常に良い年だと感じている。これから正月を迎えるにあたり、是非北はるか産のもち米をご賞味頂ければ」と話しておりました。



北海道優良米生産出荷共助会 最優秀賞受賞

美深

北はるか青年部、JA青年女性部合同学習会開催

11月24日、名寄紅花会館にて青年部、青年女性部合同で、学習会が開催されました。講師にホクレン旭川支所 物流課の五十嵐 亮一係長をお招きし、JAグループ北海道の物流への取り組み、および物流の2024年問題についての講習が行われました。

一貫パレチゼーション(荷物のパレット輸送)を始めとした物流に対する様々な取り組みが紹介された他、ドライバー不足やJR貨物輸送の課題、働き方改革関連法による時間外労働の上限規制等、昨今の様々な問題点を解説して頂きました。

講義終了後も、「JRの線区が廃止になったら北海道の物流はどのように維持できると考えますか?」「ドラ

イバーや運送会社の確保についてJAグループでどう考えているかお聞かせ下さい」など様々な質問が上がり、受講者の熱心な様子が伺える学習会となりました。

品地部長は「物流の問題は消費地から距離の遠い我々にとっては非常に重要な問題であり、非常に有意義な勉強会となった。今後とも情勢に注視し、一人の農業者として声を上げていけるよう引き続き学びたい」と話されました。



学習会の様子

中川

中川町幼児センターへ農産物寄贈

10月27日中川町幼児センターへ黒澤支所長が訪問しもち米・南瓜・芋各10kgずつ寄贈致しました。

幼児センターの園児たちは、小さな体で重たいお米や南瓜を受け取っていました。黒澤支所長は子供たちに「すでに皆さん元気いっぱいですが、おいしいお餅や南瓜・芋を食べてさらに元気いっぱいになってください」と伝え、園児たちは大きな声で「ありがとうございました」とお礼を述べました。

寄贈されたもち米は11月30日に毎年恒例の「もち

つき大会」にて、お雑煮やきなこ、あんこ、納豆、ごまもちにして使われました。



美深

女性部・スズラン会合同研修旅行を開催！

11月29日～30日の2日間JA北はるか女性部・スズラン会合同の研修旅行を開催しました。

1日目は、砂川市にあるコスメブランドSHIROの「みんなの工場」を訪れました。砂川市の小学校跡地に作られたという工場内では香水やスキンケア製品の研究、製造がなされており研究開発室や調合室、充填室などの製造工程をガラス越しに見学ができ精密な作業風景が観察できました。

2日目は、当別町にあるロイズカカオ&チョコレートタウンを訪れました。南米・コロンビアのカカオ農園をイメージしたロイズカカオファームエリアにてカカオの栽培方法や収穫から出荷までを見学しました。カカオの実のレプリカを持って重さを確認したり、カカオ豆の天日干し作業を体験しました。

次に原料チョコレートの製造工程を見学した後、ロイズの人気商品をゲームやクイズ形式で学べるプレイ

エリアに行きました。皆さん和気あいあいと楽しく過ごされ今回の研修旅行は終了となりました。

荒谷女性部長は、「日常と異なる体験を共有し親睦を深める大切な時間を過ごす事が出来ました。」と話しておりました。



集合写真



クイズ体験

下川

下川町和牛組合講習会

11月21日(火)到下川町総合福祉センターハピネスにて、下川町和牛組合の講習会が開催されました。今回は北はるか酪農振興協議会下川部会の会員も対象とし、21名が参加しました。

講習内容は「分娩介助のしかた」について、北海道NOSAI名寄家畜診療所の水田晴也獣医師により、スライドを用いて分娩前後の経過・分娩異常の判断基準や介助方法・産道内部の様子や胎児の骨格位置・介助器具の正しい使用方法を再確認するとともに、分娩介助が必ずしも必要なのか？という論点で分娩トラブル時、獣医師が到着するまでに生産者自身ができることの説明を

受けました。

分娩事故による経済損失は経営に大きなダメージをもたらしてしまうので母子ともに健康な分娩を迎えられるよう再認識する良い機会となりました。



講習会の様子

中川

なでしこ会 忘年会

12月4日(月)、JA北はるか中川支所2階にて、なでしこ会の忘年会が開催されました。

令和元年の12月開催以降、新型コロナウイルスの影響で開催を自粛する日々が続いた為、今回は実に4年ぶりの開催となりました。会員8名中6名が参加され、町内のレストランささきでテイクアウトしたご飯を食べながら皆で歓談しました。

久しぶりに会う部員同士もおり、普段の営農に関してや子供の事、新型コロナ以前の思い出話などで話に花を咲かせました。

新型コロナウイルスの5類への移行があり徐々に以前の生活体系に戻りつつあるので、今後もこのような情報交換ができる機会を増やし、有意義な時間を過ごせるように今後も活動していけたらと考えています。



 年末年始 業務日程		12月			1月					
		29日 金	30日 土	31日 日	1日 月	2日 火	3日 水	4日 木	5日 金	6日 土
本 所	一般事務	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	貯金・共済窓口 (クミカン)	15時迄	休	休	休	休	休	15時迄	15時迄	休
	ATM	15時迄	休	休	休	休	休	15時迄	15時迄	休
	資材店舗	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	機械センター	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	セルフスタンド	営業	12時迄	休	休	休	休	営業	営業	営業
下 川 支 所	一般事務	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	貯金・共済窓口 (クミカン)	15時迄	休	休	休	休	休	15時迄	15時迄	休
	ATM	15時迄	休	休	休	休	休	15時迄	15時迄	休
	資材店舗	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	スタンド	営業	12時迄	休	休	休	休	12時迄	12時迄	12時迄
中 川 支 所	一般事務	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	貯金・共済窓口 (クミカン)	15時迄	休	休	休	休	休	15時迄	15時迄	休
	ATM	15時迄	休	休	休	休	休	15時迄	15時迄	休
	資材店舗	12時迄	休	休	休	休	休	休	休	休
	スタンド	営業	12時迄	休	休	休	休	12時迄	12時迄	12時迄

理 事 会 報 告



第9回 理事会 10月31日(火)

■決議事項

- 議案第1号 第6回 臨時総代会の開催について
開催日を令和5年12月22日(金)としたい
付議事項～麦乾燥調製施設の増改造工事
内容の詳細については次回(第10回)理事会にて決議したい
- 議案第2号 自己査定関連要領の改正について
- 議案第3号 簿外管理債権の今後の対応方針について
- 議案第4号 組合員への融資について(畜産クラスター事業関連)
- 議案第5号 理事との契約について

■報告事項

- 9月末基準 財務状況について
- 第3四半期 監事監査の実施について
- 各部からの報告事項

1 月行事予定

1月26日(金)

第7回監事会／第12回 理事会

第10回 理事会 11月29日(水)

■決議事項

- 議案第1号 第6回 臨時総代会の招集及び提出議案について
- 議案第2号 営農懇談会の日程及び提出資料について
- 議案第3号 準職員就業規則等の改正について
- 議案第4号 コンプライアンス・マニュアル等の改正について
- 議案第5号 個人情報保護計画書の設定について
- 議案第6号 経営者保証に関するガイドラインへの対応方針について
- 議案第7号 クミカン精算時における融資及び仮渡金対応について

■報告事項

- 10月末 決算推定の結果について
- 令和5年度 収支シミュレーションについて
- 各部からの報告事項について
- マネロン及びテロ資金供与対策に関するアンケートへの対応について
- 年末年始の業務日程について
- 年末手当の支給について
- 営農推進会議の結果報告について

改正電子帳簿保存法(電子取引データの保存)について

- 所得税では、従来より売り上げや仕入れの取引書類(請求書や領収書など)を5年間保存しなければならないとされています
- 令和6年1月1日より、メールで授受したものやインターネットからダウンロードした取引書類(電子取引データ)は紙での保存は認められなくなり、一定の要件のもと電子的に保存することが義務となります

令和5年12月31日まで



プリントアウトして紙での保存OK※
※税務調査等の際に提示・提出できるようにしておくことが前提

令和6年1月1日から



プリントアウトして紙での保存不可
↓
一定の要件のもとパソコンなどに
データとして保存が義務化
(電子的に保存)

一定の要件とは

①改ざん防止措置をとること

「正当な理由がない訂正・削除の防止に関する事務処理規程」を定め、その規程に沿った運用を行うなどの対応が求められます

②検索できるようにすること

- ・取引年月日、勘定科目、取引金額その他の帳簿の種類に応じた主要な記録項目により検索できること
 - ・日付または金額の範囲指定により検索できること
 - ・2つ以上の任意の記録項目を組み合わせた条件により検索できること
- が求められます

③ディスプレイ等を備える事

ディスプレイやプリンタなどを備え付け、画面・書面に整然とした形式および明瞭な状態で速やかに出力できるようにしておくことが求められます

○税務調査等の際に電子取引データのダウンロードの求めに応じることが出来るようにしている場合は「日付・金額・取引先」の条件で検索可能であれば問題ありません

さらに、次のいずれかの要件を満たせば②の要件は不要となります。

- ・2年前の売上高が5,000万円以下であること
- ・電子取引データをプリントアウトした書面を、取引年月日等の日付および取引先ごとに整理された状態で提示・提出できるようにしていること

○また、次のいずれの要件も満たせばすべての要件が不要となり、単に電子データを保存すればよいとされています

- ・要件に従って電子取引データを保存できなかったことについて所轄税務署長が相当の理由があると認める場合(事前申請等は不要)
- ・税務調査等の際に電子取引データのダウンロードの求め及びその電子取引データをプリントアウトした書面の提示・提出の求めにそれぞれ応じるようにしていること

○実務的な対応に関する詳細については、国税庁「電子帳簿保存法一問一答【電子取引関係】」をご参照ください

https://www.nta.go.jp/law/joho-zeikaishaku/sonota/jirei/pdf/00023006-044_03-5.pdf



令和5年を振り返って

令和5年は雪解けが早く、各種農作業もさいさきの良いスタートとなりましたが、5月下旬の低温や7月の大雨、8月中旬以降の高温で栽培管理や収穫作業が大変な年となりました。各種作物の状況を振り返り、令和6年の栽培に生かしましょう。

水 稲

移植後5月下旬から6月上旬の低温強風により植え傷みが見られましたが、6月中旬以降は概ね平年より気温が高く経過したため、生育は順調に進みました。6月下旬以降イネドロオウムシによる食害が見られたものの、それ以外目立った病害虫は発生しませんでした。収量は令和4年には及びませんが、平年より多い年となりました。イネドロオウムシの食害が多く発生した水田では薬剤散布の検討をしましょう。



写真1 イネドロオウムシの食害

畑 作

令和5年はアズキノメイガ・マメノメイガが多発しました。成虫は莢の基部や柄に産卵し、ふ化後の幼虫は莢内部に食入し子実を加害する他、成長点や莖や葉柄にも侵入します。マメノメイガは飛来性害虫なので今後突発的に発生する恐れがあります。アズキノメイガ・マメノメイガとも開花始めから7~10日間隔で2~3回薬剤散布が有効です。



写真2 マメノメイガとアズキノメイガ幼虫の食害

園 芸

令和5年は収穫時期にかぼちゃ「疫病」の発生が目立ちました。特に収穫開始直後からコンテナ内で腐敗が進み、例年より多い傾向でした。果実肥大期以降の降雨量が多く土壌水分が常に多い状態であったこと、また、防除タイミングも困難な状況であったことが発生拡大の背景にあると思われます。特に今年発生したほ場では薬剤の選択や防除の時期など、対応策を再検討しましょう。



写真3 かぼちゃ疫病

飼料作物

飼料用とうもろこしのは種作業は5月中旬の好天で進み、出芽後は高温と適度な降雨により、順調に生育しました。しかし地域によっては7月から8月中旬まで降雨量が多く、滞水による生育不良や子実の腐敗が見られました。また、すす紋病の発生が多いほ場も見られました。ほ場の排水対策(カットドレーンや明渠の修繕等)、すす紋病抵抗性品種の作付け、作付けほ場の変更など検討しましょう。



写真4 滞水による被害



1 北海道警察防犯アプリケーション「ほくとポリリス」の周知・利用促進 防犯アプリで安全・安心!

北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリリス」は、北海道内の犯罪、不審者、特殊詐欺情報を表示するほか、防犯ブザー・ちかん対策機能等により、皆さんの安全と安心な暮らしを支援します。

2 雪による事故の防止 慣れた雪かき危険がいっぱい

○早めの氷雪下ろしを

例年、屋根からの氷雪の落下により、下敷きになるなどの事故が発生しています。氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。また、氷雪は早めに下ろして、落氷雪による事故を防止しましょう。

○雪下ろし作業は複数で行い安全確保

例年、屋根の雪下ろし中に、ハシゴや屋根から転落する事故も発生しています。作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万が一に備え、万全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。

○除雪機に注意

例年、除雪機による除雪作業中に、衣類を巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故も発生しています。除雪作業時は、作業に適した服装を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くなどの作業は絶対にやめましょう。

3 110番通報の適切な利用の促進や警察相談専用電話(#9110)等の紹介と周知 緊急通報は110番、相談電話は「#9110」に!

110番は、緊急の事件・事故などを、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。110番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問します。慌てず落ち着いて正しく答えてください。警察官が早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。携帯電話で110番する場合、車で移動しながらの通報や歩きながらの通報は通話が途切れることがありますので控えてください。また、車を運転しながらの通報は法令違反となる場合がありますので、車を安全な場所に停止して通報をしてください。110番通報時に音声だけでは状況が分からない場合等、スマートフォンから現場の状況等の動画や静止画像の提供をお願いする場合があります(通信料金を御負担いただくこととなります。)。110番アプリは、聴覚や言語に障がいがある方など、音声による110番通報が困難な方が、スマートフォン等を利用し、文字で警察に緊急通報するシステムです。110番アプリを利用するためには、事前に専用のアプリをダウンロードする必要があります。音声による110番通報が可能な方は電話での110番通報をお願いします。緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸手続に関する照会などは、最寄りの警察署、交番・駐在所の電話を、相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「#9110」の警察相談専用電話をご利用ください。

4 冬道における交通事故の防止 ストップ・ザ・交通事故〜めざせ安全で安心な北海道〜

○スピードダウンと慎重な運転

冬道では、スリップによる正面衝突や路外逸脱などの交通事故、凍結路面における追突事故が多発します。特に日陰や橋の上、トンネルの出入口は日中でも滑りやすくなっていますので、スピードダウンと道路状況に合わせた慎重な運転を心掛けましょう。

○時間に余裕を持った運転

天候や道路状況により渋滞が発生し、目的地までに時間がかかることが予想されます。時間に余裕がないと、先を急いで交通事故に繋がる可能性がありますので、事前に目的地までの道路状況や天候を確認して、時間に余裕を持った運転に心掛けましょう。

○「急」のつく運転操作は危険

急発進、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップなどの思わぬ交通事故につながり、大変危険ですのでやめましょう。

○交差点の死角に注意

道路脇には、雪山ができてドライバーや歩行者の視界を遮り、見通しが悪くなります。交差点を通過する際は「車が来、ているかもしれない」、「歩行者が横断するかもしれない」と予測して、運転しましょう。

○悪天候に注意

吹雪や大雪時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴い、命を落とす結果となる場合があります。悪天候の場合は、不要不急の外出は控えるようにし、やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、万が一に備えて防寒具やスコップ等を準備しましょう。

5 違法・迷惑駐車防止 やめましょうみんなが困る迷惑駐車

○道路を狭くして通行の妨害になります。

違法駐車があるために、交通渋滞を引き起こし、スムーズな車両走行ができなくなることがあります。また、歩道上駐車は歩行者の通行を妨げます。

○交差点付近での事故の原因となります。

交差点付近の違法駐車は、通行する車両や歩行者の見通しを妨げ、交差点事故の原因となります。

○緊急車両の活動を妨げます。

狭い道路に違法駐車があるときは、他の車両が通行不能となります。特に、消防車や救急車などの緊急車両の活動を妨げ、人命救助に重大な影響を与えます。

○歩行者事故などの原因になります。

住宅街での違法駐車は、駐車車両の直前や直後から幼児、児童の飛び出しによる事故や、夜間には走行車両が駐車車両に気付かずに衝突するなど、交通事故の原因にもなります。

○除排雪作業の障害となります。

違法駐車が除排雪作業の妨げとなり、住民に迷惑をかけ、生活にも重大な影響を与えます。

組合員の異動

令和5年11月30日現在
※() 前号比

地区名	正組合員数	准組合員数
美深・音威子府	(-2名) 275名	(-2名) 542名
下川支所	(-4名) 141名	(-1名) 183名
中川支所	(-3名) 85名	(-2名) 159名
合計	(-9名) 501名	(-5名) 884名
	1,385名	

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルスも5類になり生産組織の活動も活発化し、いつもの日常に戻つつあった一年でしたが、資材物価高騰、配合飼料価格、ウクライナ情勢に伴う穀物価格の上昇等は変わらず、苦勞の多い年だったかと思えます。本年につきましては、良い1年だったと振り返ることができる年になる様、心よりお祈り申し上げます。

(M・N)